

本人が物語風に綴る闘病記

44歳で甲状腺がんと中咽頭がんが見つかりましたが、
中2の娘が「大したことないやん」と言うので。

著：原 利彦（1972年 生まれ）



甲状腺がん治療&中咽頭がん経過観察 編 062：必ず、あの場所に立ってやる！

2017年7月15日（土） 治療終了から26日目 退院から5日目

早朝5時15分 四番山笠
恵比須流 櫛田入りスタート。
この瞬間をトキは、テレビの前で
正座をして迎えました。

テレビで観たあとも、落ち着かす
に、ずっと公園を歩き続けまし
た。トキは本当は現場で生で観
たかったのです。



法被を着られなくても、せめて同じ空気を吸いたかったのです。しかし、尊敬する先輩から「**完治させてから出てきやい！**」と言われていました。それは、『**山笠に出たいなら病気を治せ**』という、先輩との約束です。その日は、まだ先なのです。梅雨が明け、既に来年まで1年を切りました。トキは思いました。

『**必ず完治して来年の今日は、あの場所に立ってやる！**』

⇒ 063：『**外の世界**』で生きていくために。